



このこ能許万葉歌碑



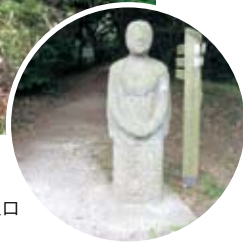
アイランドパーク前



壇一雄旧宅



思索の森



思索の森入口



壇一雄記念碑(旧宅地内)



也良崎万葉歌碑



能古焼窯跡



永福寺



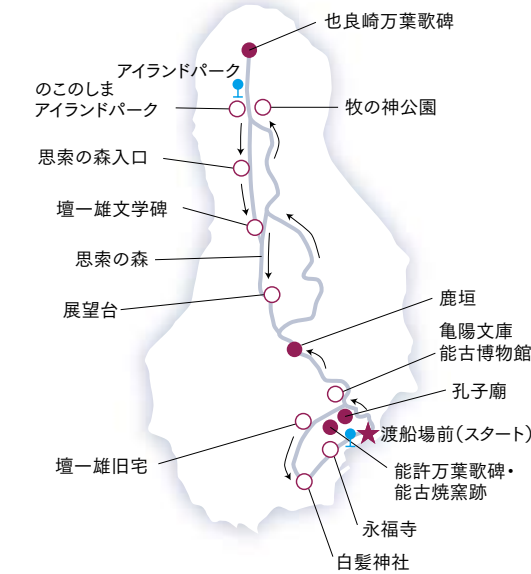
亀陽文庫 能古博物館



白髪神社



市営渡船「フラワーのこ」



思索の時間

西区(能古島)

巻頭マップ

歴史のロマンあふれる島

博多湾に浮かぶ能古島は奈良時代から歴史に登場する島で、江戸時代には廻船業で全国海運の頂点に立った筑前五ヶ浦のひとつとして全国的に知られてきました。

今回は福岡市観光案内ボランティアの福地満代さんに能古島の自然と歴史と文学をテーマに案内していただきました。

能古島へは姪浜の渡船場から十分の船旅を楽しんで到着です。港の左手にある能古緑地で島の歴史を学び出発です。コースは午前中、廻船業の当時に偲ばせる街中を通り、永福寺、能許万葉歌碑、能古焼窯跡、孔子廟、亀陽文庫、能古博物館、壇一雄旧宅、島の産土神で奈良時代創建とされる白髪神社を巡り、アイランドパークまで歩き、入口そばの牧の神公園で昼食。午後は也良崎万葉歌碑(防人の歌)、壇一雄文学碑、思索の森散策、展望台で博多湾を一望し、鹿垣をみて港へ戻るコースです。のんびり能古の自然を堪能しました。

次におすすめのスポットを紹介しましょう。能古焼は江戸中期、二十年間だけ使用された窯で、有田焼系磁器と高取焼系陶器が作られていました。登窯の大きさに驚きです。近くの万葉歌碑は遣新羅使が詠んだものです。「風吹けば 沖つ白波恐みと 能許の泊まりに あまた夜そ寝る」



孔子廟

孔子廟には全国でも珍しい貴重な鑄造製の孔子像が祀っており、廟前には楷の樹も植えられています。ここから博物館までは案内の福地さん曰く「ささやきの小径」が続きます。亀陽文庫 能古博物館には廻船当時の資料が約千点展示されています。

思索の森は是非訪ねてほしい場所です。入口には男女の石像が、一步森へ入るとここが島であることを忘れる程です。途中、少し開けた所には「じゃんこ石」に文字が刻まれた壇一雄の文学碑があります。(毎年五月には壇一雄を偲ぶ花逢忌が開かれます)短い森の道でしたが、本当に考えを巡らす時間となりました。

島で最も高い展望台からは三六〇度のパノラマが楽しめます。福岡の街や志賀島が一望できます。土産に能古郵便局で能古島の記念切手を購入し、船に乗り島をあとにしました。

- アクセス
  - 地下鉄「姪浜」駅 (西鉄バスに乘換)
  - 西鉄バス「能古渡船場」 (姪浜渡船場の最寄りのバス停)
  - 市営渡船(姪浜～能古) 約10分

■コース散策:約4時間



ボランティアガイドの福地満代さん

※散策コースとしてアイランドパークと組み合わせたコースもお薦めです。

※1: 筑前五ヶ浦とは唐泊、浜崎、残島(能古)、今津、宮ノ浦のこと。  
 ※2: 亀陽文庫には亀井南冥一門の貴重な資料が所蔵されています。